

確認テスト

所属_____

氏名_____

介護のプロに求められる観察

1) 高齢者の身体的特徴や接し方に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 加齢に伴い、筋力や関節可動域は低下する。
- ② () 難聴の高齢者には、高い声で話しかけると良い
- ③ () 動脈硬化などにより高血圧となる場合が多いため、立ちくらは起こしにくい。
- ④ () 機能低下に伴い薬が体に残りやすく成るため、薬の副作用が出やすくなる
- ⑤ () 誤嚥は起こりやすいが、誤飲は起こりにくい

2) 高齢者の身体的特徴に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 白内障は、70歳以上の90%に見られる
- ② () 感音性難聴は、女性に多く見られる
- ③ () 高齢者は味覚が鋭くなるため、薄味にすることが望ましい
- ④ () 血管壁の弾力性が低下することで、血圧の低下を引き起こす
- ⑤ () 胃腸の運動が低下することで、便秘になりやすい

3) 尿失禁に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 機能性尿失禁は、笑ったときやくしゃみをしたときなどに起こる
- ② () 腹圧性尿失禁は、女性に多くみられる
- ③ () 溢流性尿失禁は、尿が少量ずつあふれ出る
- ④ () 切迫性尿失禁を引き起こす主な原因の1つは、前立腺肥大である

4) 高齢者の身体的特徴や症状に関する次の記述で、正しいものには○、誤っているものには×を付けてください。

- ① () 口渇を感じやすいため、脱水を起こすことは少ない
- ② () エピソード記憶は、最近のできごとに対する記憶は保たれる場合が多い
- ③ () 仙骨部は褥瘡の好発部位である
- ④ () 発熱がある場合、体温と併せて呼吸回数や呼吸の仕方を観察する
- ⑤ () 腹痛を訴え、圧痛を伴わずに血液低下が認められる利用者の場合、心筋梗塞の可能性はある

5) 意識障害のある利用者への観察ポイントに関する次の記述で、適切なものには○、そうでないものには×を付けてください。

- ① () 転倒などで頭をぶつけていないか観察する
- ② () 腹痛を伴っていなければ、嘔吐の有無は確認しなくても良い
- ③ () 呼吸・脈拍の状況を観察する
- ④ () 麻痺や言語障害は起こるものなので、確認しなくても良い
- ⑤ () つねるなど、刺激を加えて反応があるかどうか確認する

6) 胸痛や呼吸困難に関する次の記述のうち、適切なものには○、そうでないものには×を付けてください

- ① () 心筋梗塞の場合、胸痛ではなく背中や胃の痛みが見られることもある
- ② () 上肢のむくみは起こるが、下肢がむくむことは無い
- ③ () 慢性閉塞性肺疾患（COPD）の場合、チアノーゼは起こらない
- ④ () 弱い胸痛の場合は心配はいらない
- ⑤ () 呼吸困難の症状がある場合、痰の量や性状も確認するポイントの1つである

解答

1) ①○, ②×, ③×, ④○, ⑤×

- ②× 高齢者における難聴は高い音から聞き取りにくくなるとされているため、低い声で話しかけると良い
- ③× 血液量が減少しているため、急に立ち上がったときなどに立ちくらみ（起立性低血圧）を起こしやすい
- ⑤× 誤嚥も誤飲も起こりやすくなる

2) ①○, ②×, ③×, ④×, ⑤○

- ②× 感音性難聴は、女性に多い。
- ③× 味覚が鈍くなり濃い味付けを好む傾向が強くなるため、薄味にするよう気をつける。
- ④× 血圧上昇を引き起こす。

3) ①×, ②○, ③○, ④×

- ①× 笑ったときやくしゃみをしたときなどに起こるのは、腹圧性尿失禁である。
機能性尿失禁は、認知症のためにトイレの場所がわからないなど、間に合わずに漏れてしまう症状である。
- ④× 前立腺肥大が原因となるのは、溢流性尿失禁。
切迫性尿失禁は急に尿意を感じ、我慢できずに漏らしてしまう。膀胱や脳・脊髄神経の疾患を持つ患者に多く見られる。

4) ①×, ②×, ③○, ④○, ⑤○

- ①× 口渇を感じにくいため、脱水になりやすい。
- ②× 最近のできごとに対する記憶が低下していく場合が多い
- ④○ この他に食欲やせん妄の有無などを確認しておく

5) ①○, ②×, ③○, ④×, ⑤○

②× 嘔吐の有無も、意識障害時の観察ポイントの1つである。

④× 麻痺や言語障害の有無も、意識障害時の観察ポイントの1つである。

6) ①○, ②×, ③×, ④×, ⑤○

②× 下肢もむくむ。下肢や顔面のむくみの有無を確認する

③× チアノーゼを引き起こす疾患の1つである

④× 強い痛みでなくても、心疾患を引き起こしていることがある。

教材作成 日総研グループ編